

恩給法案特別委員小委員會會議事速記録第三號

大正十二年三月十四日(水曜日)午後二時二十七分開會

○委員長(公爵近衛文麿君) 開會イタシマス

○伯爵副島正君 是ハ質問イタスマデノコトデモナイト
思ヒマスガ、念ノ爲ニ質問イタシテ置キマスガ、第六十條ニ
學習院職員ト云フコトガアリマスガ、是ハ女子ノ學習院職
員モ含ムノデアリマスカ、

○政府委員(入江貫一君) 今日ノ學習院官制ト云フモノ
ハ一ツニナツテ居ルカラ、其中ニ女子學習院ノコトモ含ンデ
居ルノデアリマス、學習院官制ノ第一條ニ「學習院ハ宮内
大臣ノ管理ニ屬シ學習院官制ノ定ムル所ニ依リ男女ノ學生
教育ノ事ヲ掌ル」トゴザイマス、官制ガ一ツニナツテ居リマ
スカラ、此法律ニモ學習院職員ト申シマス、唯ハハクニ聞キマ
ス女子ノ學習院モ這入ルノデゴザイマス、唯ハハクニ聞キマ
ス女子ノ學習院ヲ獨立サセタイト云フ考ガ、宮内省ニ
在ルカノヤウニ聞イテ居リマス、其獨立ノ曉ニハ此法律ニ
這入ルカ這入ラスカト云フ疑問ガ生ジハシナイカト云フ疑
義ガアルヤウデゴザイマス、今日既ニ官制ガ一ツデアリマ
ストキニ、豫メ獨立スルト云フコトヲ豫想シテ法律ニ規定
スルコトハ無論出來マセス、ソナラ他日獨立シタラドウ
ナルカト斯ウ申シマス、例ヲ以テシマスレバ今日帝國
議會ト云フモノガアリマス、他日ハ法律ニ規定スルコト
ハ無論出來マセス、ソナラ他日獨立シタラドウナルカト
斯ウ申シマス、例ヲ以テシマスレバ今日帝國議會ト云
フモノガアリマス、他日ハ法律ニ規定スルコトハ無論
マシテモ、今日ノ處デ帝國議會ノ職員ト申シマスレバ獨立
シタトキノ帝國議會ノ職員モ這入ルコト云フコトハ通則デア
ラウト思ヒマス、是モ他日女子學習院ガ獨立シテモ、獨立シ
タ官制ガ當然這入ルコトト思ヒマス

○男爵坂本俊篤君 此第三十三條ノ「公務員外國ノ交戦又
ハ擾亂ノ地域内ニ於テ危險ヲ顧ミズ其職務ヲ以テ勤務シタ
ルトキハ云々」此危險ヲ顧ミズト云フコトガアリマスガ、是
ハ此危險ヲ顧ミズト云フ状態ガ、茲ニ備ハラナケレバ此
ハ顧ミラレナイ譯デアリマセウカ、或ハ斯ウナ場合デモ
危險ノアル場合ト危險ノナイ場合トアリマセウカ、第三
十三條ハ必ズ危險ノアル場合ヲ想像サレテ、危險ヲ顧ミズト、
斯ウナルノデアリマスカ

○政府委員(入江貫一君) 普通ノ場合ハ外國ノ交戦、又ハ
擾亂ノ地域内ニ於テハ、危險ガアルモノト、一應ハ解釋イ
タルノデアリマス、併ナガラ交戦ノ關係ニハアルケレド

モ、實際ノ戰闘ハナイト云フ場合ガナキニシモアラズト思
ヒマスガ、ソレヲノ危險モ何モナイ時ニ在勤シタガ故ヲ以
テ、加算アルスル必要ハ認メマセス、客觀的ニ危險ガアル、其
危險ガアルニ拘ラズ在勤シタト云フ時ニ加算ヲ認メル考
デゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 第三十二條ノ末項ニ「戦争ニ準ズベキ
事變ニ際シ職務ニ服シタル」云々トアリマス、此戦争ニ準
ズベキ事變デアアルノデスカラ、之ヲ稱シナ「職務ニ服シタ
ルト」云フコトハ、チヨット是ダケデハ矛盾スルヤウニ見
エマスガ、ドウナリマスカ

○政府委員(入江貫一君) 戦争ニ準ズベキ事變ガドウ云フ
コトデアアルカト云フコトハ、勅令デ定メルノデアリマスガ、其
事變ニ方リマシテ、其事務ニ從事シマシタルモノニ準用スル
ノデアリマシテ、其事務ニアリマシテモ、ソレト何等關係ガ
ナイ事務ニ服シタルモノニハ準用サレナイ譯デアリマス、
依テ職務ニ服シタル場合ト云フコトヲ限定シタ譯デアリ
マス

○南弘君 丁度其條文デアアルカラ、私モ御尋シマス、内國戰
ト云フコトガ衆議院ニ於テ削除サレタヤウデアリマスガ、ソ
レニ御同意ニ相成ッテ居リマスカ、御同意ナスッたら、ドウ云
フ譯デ御同意ニナリマシタカ

○政府委員(入江貫一君) 内國戰ニ加算ノ期間ヲ半減シマシ
タハ、現行法ガサウナツテ居リマス、其ノ内國戰ト云フノハ、
是ハ解釋デハアリマスガ、戦争行為ガ國內ニアツタ時ト、先
ヅ一應解釋シテ居リマス、ソレヲノ場合ハ、其勤務狀態ガ外
國、例ヘテ申シマスレバ、遠ク西比利亞ニ居ッテ戰サスル
ノト、或ハ臺灣ノ場合ト、内國ニ於テ戰サスルノト、勤務
狀態ガ幾分違フダラウト云フコト、現行法デハソレガ區別
セラレテ居ッタコトト思ヒマス、ソレデ立案ノ際ハ其現行
法モ成程其方面カラ見マス、幾分力勤務狀態ガ違フト思
ハレマスノデ、現行法ノ儘ヲ採ッタノデアリマス、併ナガラ
此修正ノ意味ハ今日ノ戰闘ニ於テ、或ハ飛行機戰モ將來ハ
熾シニ行ハレデアラウ、又飛行機戰ニナラズトモ、例ヘテ
申シマスレバ津輕海峡ヲ航海シテ戰闘ヲ致シマスレバ、領
海内ニ這入ツタ時ハ内國戰デアアル、領海外ニ一歩出テ交戦
シタラ外國戰デアアルト云フ區分ヲ付ケルノハ妥當デアアル
イト云フコトデアリマス、ソレデ政府部内ニ於テモ此法ヲ
修正説ガ出マシタノデ、誠ニ尤モノ次第デアリマスノデ、ソ

レデ削除ニ同意シタ次第デアリマス

○男爵坂本俊篤君 尙ホ繰返シテ唯今質問イタシマシタコ
トヲ更ニ確メマスガ、戦争ニ準ズベキ事變デアアルノハ、是ハ
戦争デハナイノデアリマス、然ルニ此事ニ從事シタルコト
ヲ以テ、職務ニ服シタルト云フ事柄ハ、チヨット意味シナサ
スヤウニ思ヒマスガ……

○政府委員(入江貫一君) 職務ト云フ言葉ガ、嚴格ノ意味
ノ戦争ノ勤務ト解釋イタシマス、成程矛盾ヲシタカ
ノ如ク考ヘラレマス、併ナガラ御承知ノ通り國際法上若クハ
法律上、戦争ト認ムベキモノ、擾亂デアッテ、マダ戦争ト云フ
程度ニ達シナイ、其事實ハ戰闘ト同様ノ事變デアッテモ、戰
争ト認メナイモノモアリマス、其戦争ニ準ズベキ事變ト申
シマスノハ、國際法上若クハ法律上、戦争ト云フ程度ニ至リ
マセヌデモ、ソレガ恩給法上カラ見マス、戦争ト略々同様
デアアルト見ラルベキモノヲ指シタノデアリマス、其事務デ
アリマシタラ、ソレデ職務トシタノデ、通俗ニ謂フ廣イ意味
デノ戰闘事務デアリマス、ソレ故ニ戰闘ノ事務ト云フコト
ヲ職務ト申シタノデ、嚴格ノ意味ノ戦争ト云フ意味デハナ
イノデアリマス

○南弘君 先程ノ御説明デ一應ハ分リマシタガ今坂本サ
カラノ御尋ニ補足シテ同フノデアリマスガ、戰闘事務ニ
服シタルモノハ三箇月、一箇月半ト云フコトニナルト、餘
裕ガナイヤウニナリマスガ、成程先程御説明ニシテマシタ
内國戰ト云フモノ一ツノ理由ガアリ、西比利亞戰フノト、地
中海戰フノト、對島海峡戰フノトデハ、精神上、身體上
ニ於テ差違ガアル、ソレヲ一様ニ三箇月、一箇月半ハ御極メ
ニナラズニ、「以內」ト云フコトニシテ、多少融通ノ利クヤウ
ニナスッたガ事實ニ適シハシナイカト云フ感ジガ致シマ
スガ、何カ内國戰外國戰ノ條項ヲ規定サレル時ニ、其事實ハ
攻究ノ間ニナカッタノデアリマスカ

○政府委員(入江貫一君) 誠ニ御尤モノ節デアリマスガ、
其節ガアルガ爲ニ第二項ヲ即チ現行法通りニ置イタノデア
リマス、併ナガラ一方カラ考ヘマス、今日ノ戦争行為ハ
必ズシモ狭イ土地ニ限ラレタモノデハゴザイマセスノデ、
飛行機戰ハ勿論海上ノ戰ヒニ致シマシテモ、或ハ印度洋ニ
出ルコトモアリ、或ハ太平洋ニ出ルコトモアリ、以內ト云フ
コトニナリマス、何所カラ限界ヲ加ヘテ宜イカ困難ノコ
トガアリマス、ノミナラズ、距離ガ遠イカラ困難ト云フ譯デ
モゴザイマセス、樺太ノ近海デ冬戰闘行為ニ出マスコト、氣

候ノ良イ時ハ太平洋ニ出テ戰鬪行爲ニ從ツタ方ガ困苦ガ少
イトモ言ヒ得ナイコトハナイノデアリマス、ソレデ其方面
カラ實ハ近海デアリ故ニ、或ハ外海デアリガ故ニ、其戰爭ニ
從事シテ居ルモノノ困難ガ著シク違ハウトモ考ヘラレナイ、
見ヤウニ依ツテテハ考ヘラレナイ場合モアルノデアリマス、
依ツテハ寧ロ戰爭ト云フ身命ヲ賭シテノ行爲デアリマス
カラ一樣ニ見テ、出來ルダケノ極力ヲ以テ其事務ニ從事ス
ルト云フノデアリマス、カラ、内外ヲ問ハナイト云フコトモ
一理ガアルカト考ヘマス

○男爵坂本俊篤君 第三十五條「公務員外國領成ニ服シ
タルトキハ」此ノ外國領成ト云フノハドウ云フノデアリマ
スカ

○政府委員(入江貫一君) 是ハ現行法ニゴザイマスコトデ、
或ハ滿洲、西比利亞ノ守備軍、或ハ南ノ方ノ防備隊ト云フヤ
ウナコトニ從フ譯デアリマシテ、尙ホ支那内地ノ方ニハ各
々此領成ガゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 第三十六條ノ航空機ノ乗員タル場合ト、
ソレカラ第三十七條ノ潜水艦ノ乗員タル場合ト、此二ツノ
場合ニ於テ加算ノ條件ガ變テ居リマス、是ハ航空機ノ方
ハ潜水艦ヨリモ危險ノ任務ニ服スルト云フヤウナ、斯ウ云
フ考カラ差ガアルノデアリマス、カ

○政府委員(入江貫一君) 御説ノ通りデアリマス、ノミナ
ラス今日實際ノ危險率ヲ比較イタシマシテモ、航空
機ノ乗員ノ方ガ危險率ハ高イノデアリマス、尙ホ加算ノ方
法ハ潜水勤務ハ一月ニ決メテ居リマス、航空機ハ二月以內
デゴザイマス、是ハ航空機ノ勤務ノ狀況ハ潜水艦ノ乗組員
ノ如ク、恒久的ニ常ニソレニ乘ツテ居ルコト云フ譯デアリカ、
其性質カラ來マシタ次第デゴザイマス

○阪本鈺之助君 今全體ニ付テノ質問デスカ
○委員長(公府近衛文磨君) サウデス
○委員長(公府近衛文磨君) 質問デス……

○委員長(公府近衛文磨君) 宜シウゴザイマス
○阪本鈺之助君 此間中ニチヨット伺ヒ洩シテ置キマシタ
ガ、此市町村吏員ハ寧ロ私ガ御尋ラスルノハ市吏員デアリ
マスガ、市吏員ガ丁度在官ヲ態ト止メテ貰フテ、招聘サレテ
市長カ助役ニナツタト云フコトハ、往々事例ガアルノデアリ
マスガ、無論是ハ官吏トシテ退官ヲ致シ市吏員ニナルノデ
アリマスガ、ソレガ他日又官ニ就クト云フヤウナ場合ガア
ルダラウト思ヒマス、ソレニ付テノ恩給法上ヨリ見タル所
ノ何ハ種々議論ノアルコトハ、今度ノ御改正案ニハ、何カノ
條ニソレガ出來ルトカ、出來ナイトカ云フコトガゴザイマ
スカ

○政府委員(入江貫一君) 市吏員ノ在職年ヲ恩給ニ通算ス

ルコトハ良イカ、惡イカ、勿論是ハ議論ノ存スル所カト存ジ
マス、理想的ニ申上ゲマスレバ、或ハ是モ通算シタ方ガ良イ
ノカハ存ジマセマス、其市町村ガ公共團體トカ云フヤウナ
點ナゾカラ、是マデハソレモ通算シマセマス、獨立ノ各自ノ
恩給法規ニ依ルコトニ致シテ居リマス、今日此新案モ是
ハ通算シナイコトニ致シテゴザイマス、從ツテ恩給モ停止シ
ナイ關係ニナツテ居リマス

○阪本鈺之助君 無論市吏員ニナルトナラナイトニ拘ハラ
ズ退官ハ退官、他日就職シタ場合ハ更ニ就職シタ、斯ウ見ル
ノデアリマス、カラ、新法律案デハ何等ココニ見ルベキトコ
ロハナイノデアリマス、カ

○政府委員(入江貫一君) サウナノデゴザイマス

○阪本鈺之助君 了解イタシマシタ
○南弘君 此第三十九條「海上勤務ニ服スル公務員其職
務ヲ以テ遠洋航海ヲ爲シタルトキハ、其ノ期間ノ一月ニ付
半月ヲ加算ス」斯ウアリマスガ、外交官ガ外國ニ勤務シテ居
ル場合ニ付テ、斯ウ云フヤウナコトニ關聯シテ御考ヘ何カ
アリマセマス、是ハ英吉利ノ如キハタシカ極東カ何カニ在
勤スル者ニハ、特別ノ恩典カアルヤウニ外交官ニ付テモ聞
イテ居リマスガ、果シテサウ云フヤウナコトガアリマス、カ
ドウデスカ

○政府委員(入江貫一君) 外交官ガ旅行ヲスルノハ、職務
ヲ以テ若シ是ニ當嵌マス、航海ヲシタラ無論這入ルノデア
リマスガ、唯不當ニ在勤スルト云フ故ノミヲ以テ、何ニモ加
算トカ云フ方法ハ出テ居リマセマス、殊ニ外交官トシテノ
ミデナイ、一般ニハ外國ニ長ク在勤スルト云フ者ニハ、是ハ
恩給ノ率ヲ增加スルト云フ制度ヲ立テマシテ、確カ六十條
カニ規定ガアルノデアリマス、即チ十五年以上外國ニ在勤
シタル者ハ、其十五年ヲ越スル部分ニ付テハ、普通ノ恩給ノ
計算以上ニ三百分ノ一ツツ一年毎ニ増加スル、詰リ普通ノ
増加率ヨリ五割高イ増加率ニナツテ居ルノデアリマス、普通
ハ百五十分ノ一ツツ増加セラルルノ、百五十分ノ一ノ外
ニ更ニ三百分ノ一、即チ百五十分ノ一半ヲ以テ計算スルコ
トニナツテ居リマス、之ハ新シイ法律ニ定メラレマシタ規定
デアリマス、ソレカラ尙ホ今御示シノ英國ノモノガ、極東ニ
在勤スルト云フヤウナ場合デアリマスガ、之ハ極東ト云フ
ヤウナコトハ指定イタシマセマス、不健康地トカ遠隔僻陋
ノ地ニ在勤スルモノニ付テハ加算ヲスルコトハ、加算ノ規
定ノトコロニゴザイマス、サウシテ不健康地ト遠隔ノ地ト
カ云フモノハ、勅令ヲ以テ指定スルコトニ致シテ居リマス、
此適用ガゴザイマスノハ、重ニ中七八ハ外國デゴザイマ
シテ、外國ノ……倫敦トカ巴里トカニ行ク者ニハヤリマセ
マスガ、或ハ印度トカ南米トカ云フ所ニ在勤スル者ハ、適當ナ

加算ヲ設ケルコトニナツテ居リマス、僅カ一月若クハ二月ヲ
加算スルコトニナツテ居リマス

○大島健一君 此問題ハ逐條質疑ノ際ニ十一條ノ「恩給ヲ
受ケル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス、但
勅令ノ規定アルモノハ此ノ限リニアラス」トシタイト云フ
コトヲ話シマシタガ、ソレニ付テ、尙ホ長官ハ何トカ之ヲサ
ウ云フ但書ヲ附ケズニ行ケルヤウナ方法ヲ考ヘル、私ヨリ
考ヘテ下サイ、考ヘマセウト云フコトデアリマシタガ、何カ
考ガ附イタデアリマセウカ

○政府委員(黑崎定三君) 長官ノ御答ニ對シマシテ、私カ
ラ御返答ヲ申上ゲルノモ如何カト存ジマス、實ハ長官
カラマダ私其コトニ付テハ實ハ伺ツテ居リマセマス、唯法律上
ノ問題ト致シマシテ、斯ウ云フ性質ノモノニ讓渡擔保ヲ許シ
マスルト云フコトハ、如何ナモノデアラウカト云フ考ヲ持ッ
テ居リマス、結局讓渡擔保ヲ許シマスルト、官吏タラザリシ
者、公務員タラザリシ者ガ、恩給ヲ受ケルト云フ結果ニナリ
マス、サウ云フコトハ恩給ノ性質カラドウモ考ヘテ見マシ
テ、餘リ感心シナイト云フヤウナ感シガシマス、又斯ウ云フ
性質ニ付キマシテ、前ニ工場法ノ例デアツカト思ヒマス、
工場主ガ使用人ニ對スル給付ノ關係ニ付キマシテモ矢張り
一方保護ノ關係カラ讓渡擔保ヲ禁ズルト云フコトニナツテ
居ルヤウデアリマスガ、是等ノ關係カラ考ヘテ見マスルト、
法律上茲デ讓渡擔保ヲ除スルト云フ或ル範圍ニ於テモ除
外スルト云フコトハ、實ハ困難ナコトデアアルカト考ヘテ居
リマス

○大島健一君 唯今ノ此御答辯ニ依ルト、「權利ハ之ヲ讓渡
シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス」ト云フ條項ヲ削ルト云フ
コトニ付テノ御意見デアラウト思フ、ソレデハ是ハ削ラス、法
ノ精神ハ宜シイカラ削ラスガ、併シ實際御承知ノヤウニ此
保護ノ目的ガ寧ロ反對ノ結果ヲ來タシテ居ルノデアアル、爲
メニ恩給ノ全部ノ利益ヲ受ケルコトガ出來ヌヤウニナツテ
居ル、故ニソレヲ救フ爲メハ特ニ已ムヲ得ナイモノニ限ツテ
ヤルト云フ、許可ヲ與ヘテヤル、許可ヲ受ケテ行カウト云
フヤウナ方法ヲ探レバ、法ノ精神ガ貫徹スルノミナラズ、其
法ノ精神ノ規定ニ依ツテ、却ツテ損害ヲ受ケルト云フコトノ
憂ガナクナルト思フノデアリマス、但特ニ勅令ノ規定アル
モノハ此ノ限ニアラス」此條文ハドウナツテモ宜シイガ、其
意味ヲ附ケル、法ニ穴ヲ明ケルト云フコトハ、何トモ思フ
ハレマシタガ、法ニ穴ヲ明ケルト云フコトハ、何トモ思フ
居ラス、ソレガ害ヲ及ボシタラバ、穴ヲ明ケテソレガ利益
ダトスレバ法ニ穴ヲ明ケルノハ、私ハ何トモ思ハヌノデア
リマス

○政府委員(黑崎定三君) 能ク拜聴致シマシタガ、結句讓

渡擔保ヲ禁ズルノ原則ト致シマシテ、勅令デ以テ特別ノ事情ヲ酌シ、特別ノ事情ノアル場合ニ讓渡ヲ許スト、斯ウ云フ御話ノヤウニ承リマシタガ、サウデアリマスカ

○大島健一君 サウデス

○政府委員(黑崎定三君) サウ致シマス、許サレタル範圍ノ讓渡擔保ガ先程申シマシタヤウナ結果ニナラウト思ヒマス、擔保ノ許シマシタ結果ハ、擔保權ノ實行モ亦之ヲ法律上許サナケレバナラヌコトニナル、サウ致シマス、擔保權ノ實行ヲ見マシレバ、結局前ニ公務員タラザリシ者、亦公務員ノ遺族タラザリシ者ニ向テ、恩給及扶助料ヲアラナケレバナラヌコト云フ結果ニナルダラウト考ヘルノデアリマス

○大島健一君 唯今ノ御説明ハ、私ハ法律上高尙ナル理論デ、能ク理解ヲ致シ兼ネマスガ、此間實況ニ付テ述ベマシタヤウニ、普通ノ人ノ手ヲ經ズニ半官半民ノヤウナ、即チ報效會トカ、義濟會トカ云フヤウナ法人ニ之ヲ取扱ハセテ、當人ヲ保護スル意味ニ於テヤレバ、今ノ擔保權ヲ其以外ニ擴張サレルト云フコトハナク、是ハ其擔保ノ期間ガ定マツテ其間ガ經過スレバ同人ニ又再ビ此完全權利ヲ戻シテヤルト云フ趣意デアリマスカラ、ソレ等ヲ勅令デ細カク極メテ置イタルソノコトハナカラウ、兎ニ角千萬圓以上恩給ガ九デ貴ヘスト云フヤウニナツテ居ル、之ヲ放ツカシテ置クコト云フコトハ、甚ダ立法上ノ不仁ノ取扱ヒト思フ、ソレ位迄法律ニ括ラレテ政治ガ出來ヌト云フコトハ、コケノ絶頂ダト思フ、サウ云フ風ニ法ヲ立テ行クコト云フノデ、始メテ法ノ光輝ガ揚ガルト私ハ信ズル、兎ニ角六千萬圓ノ恩給ガ二割以上千萬圓以上ノモノガ本人ニ一代返ツテ來ヌト云フコトニナツテ居ル、ソレハ何カト云フ、此條項デ保護スルコト云フコトカラ來テ居ル、如何ニモ此保護ノ結果却テ反對ニ現ハレタ特ニ、之ヲ阻止スルコトガ法律デハ手ガ出セナイト云フコトハ如何ニモ情ナイコト思ヒマス、何ドカ救ヒヤウガアレバ結構デアリマスガ、他ニ御考ガアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、其御考ヲ一ツ伺ヒタイ、政府ハ何トモ致方ガナイト云フコトデハ、ドウモ……

○政府委員(黑崎定三君) 唯今ノ實況ニ付キマシテ恩給證書ガ擔保ノ形ニナリマシテ、金貨ノ方ニ捲上ゲラレテ居ルト云フ實況ハ、是ハ事實デゴザイマスノデアリマス、却テ此擔保讓渡ヲ禁止シテ居リマス結果法律關係ト致シマシテハ、代理受領ノ形ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ代理受領デアリマスカラ、代理權ノ解除ヲ致シマスレバ、自分ノ手ニ受取レル管デアリマス、正式ニ擔保ヲ認メマスレバ、若クハ讓渡ヲ認メマスレバ法律上自分ノ手ニ受取レナクナルノデアリマス、是ハ施行規則ノ問題ニナリマスカ知リマセヌガ、從前或ル範圍ニ於キマシテ恩給證書ヲ持ッテ來ナケレ

バ金ヲ渡サスト云フコトニ確カナツテ居タト心得テ居リマス、ソレデアリマスカラ金ヲ貸シタ人ハ恩給證書ヲ捲上ゲテシマヒマシテ、サウシテ本人ガ支給官廳ニ出頭致シマシテ、恩給金額ヲ受取りニ行カウト思フデモ、恩給證書ガゴザイマセヌノデ、取レナカッタト云フ結果ニナツテ居タヤウデアリマス、其點ハ確カ大正九年カラ其制度ヲ廢メマシテ、恩給ノ受給權者タル證明ガ出來マスレバ、恩給證書其モノノ提出ガナクとも、渡シ得ルヤウニナツタノデアリマス、ソレデアリマスカラ其法律關係ト致シマシテハ、擔保讓渡ヲ禁止致シテ居リマス結果、今ノ代理受領權ノ關係ヲ解除致シマシテ、自分ノ手デ取りニ行ケルノデアリマス、法律關係カラ中シマスレバ取レルノデアリマス

○大島健一君 唯今ノ御答辭ニ依ルト、恩給證書ヲ或者ニ渡シテ管理サセテ、是デ自分ノ借用ノ金ヲ返シテ呉レト云フデソレニ受取ラセルヤウニシテ置イテ、モウ一ツ自分ガ今度自分ノ名前デ證書ハナイガ受取りニ行カレト云フ……證書ガ無シニ受取りニ行カレト云フコトデアリマスガ、ソレハ今ノ規定デ行ハレルトコトデアリカドウカ

○政府委員(黑崎定三君) 此證書無シテ云フコトハ、チヨット私ノ言葉ガ足りマセヌデゴザイマシタガ、賸本ヲ請求致シマシテ、賸本デ受取レルコト云フコトデアリマス

○大島健一君 或ハサウ取財ヲヤルト云フ話デ、自分ガ事實證文ノ上ニハ書イテナイガ、事實金ヲ借りテ其擔保ニシタ形ニナツテ居ルト云フ、金ハ借りテアル、サウシテ其擔保品タルモノハ擔保ニナツテ居ラス、言葉ヲ簡明ニスル爲メニサウ申シマスルガ、擔保品タル恩給證書ノ賸本ヲモウ一ツ作ッテ貰フテ、サウシテ賸本デ金ヲ受取ルト云フコトハ、詐偽ノ所作ダラウト私ハ思フ、サウ云フコトガ良イコトデアリマスルカ

○政府委員(黑崎定三君) 固ヨリ代理受領ノ委任證書ヲ渡シテ居リマスガ、此一方ニ代理受領ノ權限ヲ存續セシムルナラバ、取ラセルト云フ意味デハナイノデアリマシテ、賸本デ受取りニ參リマス時ニハ、更ニ自分ガ渡シタル受領ノ委任權ヲ解除イタシマシテ受取ル、斯ウ云フ關係ニナツテ居リマスル

○大島健一君 無論其通りデアリマセウガ、其事實ハサウデヤナイ、ソレハ今ノヤウニナル譯ハ自分ノ證書ガナクナリマシタ、擔保ニシタトモ何トモ言ハス、サウシテ其代リニ賸本ヲ作ッテ貰フタルノデアルカラ、委任權ヲ解イタ形デ受取ルベキモノヲ、即チ逡巡省ニ向テハ、アラナケレバナラスガ、事實ハ矢張り解クト云フ譯ニハ行カヌ、金ヲ借りテ居ルノデアル、管理ヲ委任シテ來タノデアルカラ、ソイツヲ

モウ一ツ斯ウ云フコトヲヤルト云フコトハ、ドウシテモ出來ナイコトデアル、是ハ一ツノ唯法律ヲ潛ラウト云フ議論ニ過ギナイ、ソノコトデハ之ヲ救助シテヤル譯ニハ行カナイノデアリマス、何カ此救助スル方法ガナイカト云フコトヲ私ハ問フノデアリマス、ソレノ良イ方法ガアレバ無論結構デアル、政府ノ手デヤレバ無論結構デアル、何カ御意見ガアルカト云フコトヲ、其點ヲ伺フタノデアル、法ヲ潛テ何カスルト云フノハ、私ノ實シタ意味デヤナイ

○政府委員(黑崎定三君) 其實際上ノ救済ト云フ方面ノ關係ニ付キマシテハ、是ハ餘程色々ナ方法ニ於キマシテ救済スベキ途ヲ講ズルコトガ出來ラウト考ヘラレルト云フコトハ、此一條ノ規定デ讓渡又ハ擔保ヲ禁止イタシテ置キマシテモ、置キマシテモ而シテ出來ルコトデアラウト考ヘラレマスノデアリマスカラ、此法文ノ方ハ此通りニ願ッテ置キマシテ、法制局長官モ先般答辭セラレマシタヤウニ、御話ノ點ニ付キマシテハ十分一ツ當局ノ方デモ考慮イタシマシテ、何トカ調査ヲ進メタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス

○大島健一君 唯今ノ政府委員ノ御答ノヤウニ御研究ヲ願フテ致シマシテ、此ノ小委員會デ私ハ是ノ質問ハ是以上イタシマセヌ、ドウカ特別委員會ヲ開キマス迄ニ一ツ御考ヲ願フテ、法文ハ此儘デ置イテ、先ニ云フガ如キ非常ナル困難ニ遭遇シテ居ル者ヲ救フ方法ヲ何トカ御考案ヲ願ヒタイ、是ハ法ノ精神ガ宜イカラト云フ、サウ云フコトノ生ジテ來ルノヲ救フコトノ出來ヌト云フノハ、甚ダ残念デアリマス、又親ガ死ニカカツテ居ル、自分ガ大病ニ罹ッテ病院ニ道入ラスケレバナラヌト云フヤウナ者ノ、一時何ニモ他ニ方法ノナイ場合ニハ、何トカセヌナラヌト云フコトガ起ッテ來ル、サウ云フ場合ニモ斯ウ云フ風ニシテヤツテ、矢張り是ガ唯ノ者デナイ、何トモ仕方ガナイ幸ヒ恩給ヲ貰ッテ居ル爲ニ、病氣ハ救ハレテ健全ノ身體ニナツテ、働クコトガ出來ルヤウニナツタト云フコトニナレバ、矢張り恩給ノ目的ハソレ達シテ居ルノデアル、是ダケノコトハ考慮シテ置カヌケレバナラヌト思ヒマスカラ、能ク政府デ御考ニナツテ貰ヒタイ、成ルタケ政府ノ確實ノ手デヤレト云フコト程結構デアル

○男爵郷誠之助君 此法案ニ表ガアリマスガ、表ノ第三號ト云フモノハ、ドウ云フ所ニ當テ居ルノデアリマスガ、是ハドウシテ省イタノデアリマスガ、一應御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(入江貫一君) 表ノ第五號ト申シマスルノハ、コチラノ本文ノ八十三條ノ削除サレタモノニ對應ヲ致スモノデアリマシテ、是ハ原案ニ於キマシテハ軍人ガ在職十一年未滿ニシテ現役ヲ去ツタ時、若クハ死亡シタ時ニハ此金額

ヲ給スルト云フ、其金額ノ表デアリマス、而シテ在職中死亡シタル場合ト、現役ヲ去ツタ場合トガ同額ニナツテ居リマス、所ガサウ云フ場合ニ給スル金額ハ、文官ナリ、學校職員ナリ、巡査看守ナリハ在來區々デアリマス、或モノハ遺族扶助ノ、扶助料ノ變形デアルカノ如キ性質ノ金ヲ給シ、或モノハサウ云フ意味デナク、死シタカラ先ヅ葬式料ト云フヤウナ意味デモ給シテ居タノデアリマス、又其兩方ヲ給シテ居タモノモアルノデアリマス、現行法ガ斯ク區々デアリマス、財政其他ノ關係デ統一ヲスル能ハズ、原案ヲ提出シタノデアリマス、然ルニ衆議院ニ於キマシテ、如何ニモ是ガ不權衡デアル、公務員ノ性質上權衡ヲ失シテ居ルト云フノデ、八十二條ヲ修正イタシマシテ、文官モ教職員モ、待遇職員モ、若クハ巡査看守モ軍人モ恩給年限ニ達セズシテ退職シタル時ハ、一定ノ金額ヲ支給スル、死亡シタルトキハ一定ノ金額ヲ支給スル、遺族扶助料ノ性質ノ金額ヲ給スル、葬料ニ當ルモノハ恩給法ノ規定カラ廢シテ了ツタ、從テ軍人ノ葬料ニ當ルベキ性質ノモノダケヲ取退ケタノデ、ソレデ此第五號表ガ不用ニナツタ譯デアリマス

○男爵坂本俊篤君 第三條「年金額ヲ恩給ノ給與ハ之ヲ給スヘキ事由ノ生シタル月ノ翌月ヨリ之ヲ始メ」云々トアリマスガ、若シ此事由ガ月ノ初メ、例ヘバ月ノ十日ニ現役ヲ去ツタ致シマスルト、其恩給ハ翌月ノ一日カラ始マルノデアリマスカラ、其十日カラ其月ノ月末マデハ是ハドウ云フ支給ヲ受クルノデアリマスルカ

○政府委員(入江貫一君) 是ハ今日ノ現行法デモ軍人ヲ除クノ外、斯クナツテ居リマス、其月ハ、例ヲ申シマスレバ、官吏デアリマス、依テ其翌月カラ恩給ヲ受ケル、然ルニ軍人ダケハ健力其日迄ノ俸給ヲ受取ツ、サウデアリマスカラ翌日カラ恩給ニ代ルコトニナツテ居タノデアリマス、之ヲ統一イタシマシテ、其罷メラレタ月ハ全部俸給ヲ貰フ、デ翌月カラハ恩給ニ移ル、斯ウ云フ風ナ法律ヲ制定スルニ當ツテ、○伯爵副島道正君 斯ウ云フ風ナ法律ヲ制定スルニ當ツテ、總テノ方面ニ向ツテ公平ニアルト云フコトハ不可能ノコトデアルト存ジマス、此故ニ私ハ是ハ一ツノ理由デアリマスガ、總テノ運動員ニ面會スルト云フコトニシテ居リマス、彼等ノ刷物ナドヲ見マス、二同情ノ念ニ堪ヘス點ガアリマス、ソレハ眼ヲ一ツ失ツタ者ト、ソレカラ兩眼ヲ失ツタ者ノ比例ガ一二ノ割合、眼ヲ一ツ失ツタ者幾ラカ働ケルノデアリマス、併ナガラ兩眼ヲ失ツタ者ハサウハイカスガ、併シ恩給ハ略、同額ヲ受ケナケレバナラナイ、ト云フノハ洵ニ不公平ト思ヒマスガ、ドウ云フ譯デスウ云フ風ニ割合

ガ違ハヌノデアリマスルカ

○政府委員(入江貫一君) 其議論ハ屢々承ル所デアリマス、又此處デモ兩三度申上ゲタコトガアルカト思ヒマスルガ、眼ヲ一ツ亡クナシタ者ト二ツ亡クナシタ者ト、何ニ依ツテ此増加金額ヲ定ムベキカ云フコトガ問題デアリマス、見ヤウニ依リマスルト其不自由ノ程度悲慘ナ程度ニ於テ定ムベシト云フノガ、是ガ通俗ノ考デアリマス、併ナガラ眼ヲ一ツ亡クナシタ者ト二ツ亡クナシタ者ノ苦痛ガ果シテ三倍デアルカ、五倍デアルカ、十倍デアルカ、百倍デアルカ、是ハ分リマセス、恐ラモウ一ツ亡クナシタ者ニ、御前ニ十倍ノ恩給ヲヤルカラモウ一ツ亡クナシタ者ニ、御前ニ十倍ノ恩給ヲヤル云フマイト思ヒマス、依テ屢々申上ゲタコト思ヒマスガ、之ヲ定メルニハ其者ノ不自由ト云フ點ヲ主タル標準トシテ致サナカッタノデアリマス、又慰安ト云フ……慰籍ト云フ點ヲ標準ト致サナカッタノデアリマス、何ヲ標準トシタカト斯ウ申シマスレバ、凡ソ第六項ニ云フヤウナ手ヲ片一方不自由ニナツタト云フヤウナ者、ソレハ一方カラ申シマスルト今日現在ニ於テカウツ(衣食住)ノ中ノ食ハ足リル、ソレハ今日ノ雇員ノ俸給ノ平均額ト云フヤウナ點カラ考慮イタシマシテ、物價カラ考慮イタシマシテ、先ヅ食ダケハ足リル、今迄ハ年額二十圓ダトカ三十圓ダトカ云フノガゴザイマシタ、ソレデハ如何ニモ食フコトガ出來ナイ、セメテ粥ハ吸レルト云フ程度迄ハ上ゲナケレバナラス、斯ウ云フ標準ヲ茲ニ置イタノデアリマス、サウシテ然ラバ眼ヲ一ツ亡クナシタトカ、手ヲ片一方亡クナシタトカ申シマスル者ハ、アトハ殘餘ノ能力ヲ以テ住衣ト云フコトハ内職ガ出來ルデアラウ、住衣ト云フコトハ出來ルデアラウ、依テ先ヅ一方カラ見マシテ先ヅ半人分ト見タノデアリマス、然ルニ兩手ヲ亡クナシタ、兩足ヲ亡クナシタ乃至兩眼ヲ亡クナシタト云フ者ハ、是ハ内職モ何モ出來ナイ、衣食住ノ中ノ食ダケヲ給シタノデハ足リナイ、少クトモ衣モ給セナクテハナラス、今日ノ社會狀態ニ於テ凡ソ先ヅ儉約ニヤツテ行キマスレバ、下級者ガドノ位アツタ生活ガ出來ルカ、二人前ガ十分生活ガ出來ルカ、斯ウ云フ點ニ探リマシテ凡ソ二倍ト見タノデアリマス、即チ一人分ト見タノデアリマス、併ナガラ眼ヲ一ツ亡クナシタ、兩手ヲ一ツ亡クナシタ者ハ一人分デハ足リマセス、看護ヲ要シマス、依テソレニ更ニ妻ガアル者ハ内職片手ニ之ヲ看護スル、從テ一人前ノ働キハ出來ナイ、依テ此看護ト云フヤウナ意味デ更ニ半人分ヲ加ヘル、斯ウ云フ標準ヲ執ツテ、即チ第六項ガ第一項ノ三分ノ一ト云フコトニナリマシタ譯デアリマス、ソレデ此標準ノ上ニ更ニ慰籍トカ或ハ不自由ニ對スル同情金トカ云フモノハ恩給法デハ見ナイ、是ハ他ノ國家ノ施設トシテ致スベキデアラウ、又之ヲ慰籍トカ不自由トカ云フコトヲ標準トシタナラ

バ、果シテ五倍デ宜イカト申シマスレハ決シテ五倍デ宜イト云フコトモ申サレマス、マイト思ヒマス、百倍ニシナケレバナラスカモ知レマセス、而シテソレヲ見レバ五倍ニスベシト云フ議論モ決シテ立タヌト思フ、三倍デイケナイ五倍ナラ満足ダト云フ議論ハ決シテ立ツマイト思ヒマス、若シ之ヲ五倍トシタラバ五倍デモ足リナイ、斯ウ云フ議論モ出ルノデアリマス、依テ此案ヲ立テマス時ニ、其點ヲ考慮イタシマシテ、廢兵ニ對スル名譽ノ表彰或ハ之ヲ慰籍スル、或ハソレニ對スル同情ヲ表スルト云フコトハ、他ノ施設致スベキモノデアアル、増加恩給トシテ之ニ給スルニハ少クモ其者ノ生活ヲ維持スル程度ニスル、生活ヲ維持スル程度以上ニ恩給制度トシテ之ニ慰籍ヲ與ヘル、或ハ名譽ヲ表彰サセルト云フヤウナコトガ出來マスレバ、定ニ結構デアアル、併ナガラ此恩給制度ノ中ノ洵ニ同情ニ堪ヘヌモノハ單リ廢兵ノミデハゴザイマセス、遺族扶助料ノ如キ御承知ノ通り僅ニ月三圓ト云フノガアリマス、是等ハ到底生活ノ補助ニモ足リナイ額デアアル、若シ國庫ニ餘裕ガアレバ先ヅ廢兵ノ方ハ生活ガ安心デアアル、今日ノ老後ヲ養フコトガ出來ルト云フコトニ止メテ、第二ノ食ヘナイ方ニ振向ケテ行カナケレバナルマイ、是ガ根本ノ考デアツタ、ソレデ此増加恩給ハ先ヅ此程度ニ止メタノデアリマス、而シテ出來タ結果ヲ見マスト、恐ラク是ガ平均シタ所デハ亞米利加ヲ除イテハ日本ガ第一デアルト思フ、依テ此……物價ハ成ホド日本ガ一番高イノデアリマスガ、國力其他生活ノ狀況ニ較ベマシテ、先ヅ此位ナラ満足スベキモノデアラウ、斯ウ云フ考ヲ有ツテ居ル次第デアリマス

○伯爵副島道正君 斯ウ云フ點ニ付テ標準ヲ立デルト云フコトハ、實際御話ノ通り不可能デゴザイマスガ、一體私ハ廢兵ニハ非常ニ同情シテ居ツテ、昨年モ豫算分科會ニ於テ陸軍大臣ニ廢兵ヲモウ少シ優遇スルヤウニセヌトイカスダラウト云フコトヲ申述ベタ位デアリマス、併ナガラ其後ノ廢兵ノ運動ト云フモノハ、殊ニ近頃ノ運動ト云フモノハ私ハ甚ダ遺憾ニ思フヤウナ譯デアアル、ガ廢兵ハ兎ニ角生キテ居ル者デアリ種々運動ヲ試ミテ豫想外ノコトニ成績ヲ得タルデアアル、然ルニ戰死者ノ遺族ト云フモノハ、我ハ婦人デアルトカ或ハ子供デアルトカハ運動スルコトモ出來ナイ、其結果ト云フモノハ彼等ハ餘ホド困難シテ居ル者モアルヤウデアリマス、大變ニ廢兵ト此遺族ニ對シテノ待遇トガ違フヤウニ思ヒマスガ、此點ニ付テ政府委員ハドウ考ヘテ居ラレマスルカ

○政府委員(入江貫一君) サウ云フ御議論モ世ノ中ニハアルヤウデ、私モ承ツタコトモゴザイマス、廢兵ガ今日生活シ得ル程度ニ上ゲナケレバナラヌト云フ考ハ、先ホド申上ゲマシ

タ、次ニ生活シ得ル程度ニ上ゲナケレバナラヌモノハ遺族
デアラウト思ヒマス、遺族ガ今日生活シ得ル程度ニ迄達セ
ズシテ困難ニシテ居ルノハ事實デアリマス、依ッテ出来ルダ
ケ上ゲタイト考ヘマスガ、是モ國家ノ財政其他ノ關係モゴ
ザイマスノデ、思フヤウニハ行キマセヌガ、今度ノ改正ニ於
キマシテ普通ノ遺族ハ倍額ニナツタ譯デアリマス、先ヅ割合
カラ申シマスレバ随分大キナ増加デアル、サウシテ恩給モ
衆議院ノ修正方略、政府當局ノ欲スル所ト合致シテ居リマ
ス、是ハマダ足りナイト云フ議論ハ無論立チマスケレドモ、
財政ヲ顧慮イタシマシテ、略ニ是ハ政府ノ望ミダ所デア
ル、而シテ戦死者ノ遺族ニハドノ位ヲ給スルカト云フト、其恩
給金額ヲ給スルノデアル、主人ガ生キテ居リマス時ニ取
ルベキ恩給ノ金額ヲ、扶助料トシテ取レバ、是ハ扶助料トシテ
ノ制度上最高イモノデアラウト考ヘルノデアリマス、恩給
金額其モノガ多イカ少ナイカハ是ハ議論ガゴザイマス、併
ナガラ制度ト致シマシテハ恩給ハ恩給ノ最高方略ニ俸給
ノ全額ニ達スルカ、否ラズンバ三分ノ二、先ヅ世界ノ中デモ
最モ多イ所ガ四分ノ三ニナツテ居ラス、是ガ恩給ノ俸給ニ對
スル場合ノ思想デアラウト思ヒマス、今ノ改正ハ二分ノ
一ニナリマスガ、軍人ニ於テハ特ニ是ガ俸給全部ニ達シマ
ス、最モ階級ニ依ッテ違ヒマスガ、御承知ノ通り中少尉ノ所
デハ二分ノ一以上カラ始メテ九割九分前後ニ達シマス、即チ
恩給ノ制度トシテハ最高限ニ達シテ居リマス、サウシテ戰
死者ノ遺族ハドウカト申シマス、今度ハ遺族扶助料ノ
理想トスル最高限ハ何處迄カト、斯ウ申シマス、今日ノヤ
ウナ制度デハ私ハ恩給ノ三分ノ二ノ邊ト考ヘルノデアリマ
スガ、併ナガラ諸外國ノ例ハ三分ノ二迄達シテ居ル所ハ殆
ドゴザイマセヌ、多クハ二分ノ一少ナキハ拾分ノ四デゴザ
イマス、併シソレニ別ニ遺兒手當ノ制度ガゴザイマスカラ、
全額ト致シマシテハ遺兒手當ノ制度ヲ入レマセバ恩給額
ニハ達シマセウケレドモ、併ナガラ遺族扶助料トシテ下付
シテ居ル所ノ手當ト致シマシテハ、實例ハ最高ガ二分ノ一ニ
ナツテ居リマス、依ッテ此新法ニ於キマシテモ普通ノ額、扶助
料ハ二分ノ一、併ナガラ戦死者ノ遺族ハ恩給全額ト斯ウ云
フコトニナツテ居リマス、依ッテ制度ト致シマシテハ是ガ最
高限デアラウト思ヒマス、尙ホ此上ニ若シ制度ノ完備ヲ
欲シマスルナラバ、昨日モチヨット申上ゲタカト思ヒマス
ガ、遺族中ノ寡婦ニ若シ遺兒ガアレバ、相當ノ養育資料ヲ給
スルト云フ點デアラウト思ヒマス、其點迄ハマダ行キ兼
ネマスルガ、寡婦扶助料ト致シマシテ、戦死者ノ者ニハ恩給
ノ全額、公務死亡者ニ對シテハ恩給ノ十分ノ八迄行キマス
カラ、制度トシテハ此上ニ増額スルト云フコトハ困難デ
アラウト思ヒマス、吳、モ恩給額ガ少ナイト云フ點ハア

ラウカト存ジマス
○伯爵副島達正君 マア段々、色々ナ方面ニ付テ御配慮ガア
ツラウト思ヒマスガ、總テノ人モ満足サレルト云フコトハ
先程申上ゲタヤウニ到底出来ヌコトデアル、當局ニ於テモ
色々御考慮デアツタト云フコトハ能ク説明ニ依ッテ了解シ
マシタ
○男爵坂本俊篤君 此十八條ノ意味ヲチヨット御説明ヲ願
ヒタイ、殊ニハ此末項ニ納金額ノ二分ノ一ニ相當スル、此趣
意ハドウ云フ所ニアリマスガ
○政府委員(入江貫一君) 第十八條ハ是ハ現行法ノ儘ヲ此
處ニ規定シタノデアリマシテ、御承知ノ通り現行法ニ依リ
マスル、公務員ノ主體ニ依リマシテ恩給ヲ給スル所ノ經
濟主體ガ違フテ居ルノデアリマス、新法ニ於テ違フテ居リマ
スガ、現行法ニ於テ特ニ違フテ居リマス、ソレデ恩給ヲ給ス
ル主體ガ國家ニアラザルモノ、即チ府縣ニアルモノガアル
ノデ、恩給制度ノ便益ノ爲ノ規定モゴザイマス、ソレカラ恩
給ヲ給スルガ、俸給ハ外ノ經濟主體カラ受ケルト云フ場合
モアリマス、其場合ニ付テ規定シタアリマシテ、讀ンデ參リ
マス、國庫ヨリ恩給ヲ給スルモノ、俸給ヲ給セサル公務員ト
申シマスノハ、恩給ハ給スルガ俸給ハ國庫カラ給シナイ、例
ヲ申上ゲマセバ、郡役所ノ書記、是等ハ俸給ハ府縣カラ受
ケマシテ、恩給ハ國庫カラ受ケルノデアリマス、ソレ等ノ公
務員ノ俸給ヲ給スルモノノアリマスノハ、即チ茲デ書記デ
申シマスレバ府縣ト云フコトニナリマス、其府縣ハ俸給ノ
百分ノ一ニ相當ノ金額ヲ國庫ニ納付スベシ、恩給ハ國庫カ
ラ出シマスカラ、府縣ハ國庫ニ其百分ノ一ニ相當スル金ヲ納
メ、即チ遺族扶助料トノ比率ヲ探ツタ譯デアリマス、但シ
府縣費ヨリ俸給ヲ給スル文官トカ、在外指定學校及ビ國庫
ノ支辨ニ屬スル地方費ヲ以テ維持スル公立學校ニ付テハ此
限リニ在ラズト申シマスノハ、此郡書記ノ例ヲ取リマシタ
ガ、在外指定學校ノ俸給ハ國庫カラハ出シテ居ラスノデア
リマス、併ナガラ恩給ハ國庫カラ出シマス、ソレカラ國庫ノ
支辨ニ屬スル地方費ヲ以テ維持スル公立學校ト申シマスノ
ハ、朝鮮トカ臺灣ニ於ケル公立學校デアリマス、是ハ地方費
デアリマス、實ハ國庫カラ出テ居ル、斯ウ云フモノデアリマ
シテ、是ハ特ニ國庫カラ恩給ヲ給シマスルガ、其國庫カラ出
ル所ノ費用デ實ハ其モノノ俸給ヲ拂ッテ居ルノデアリマス
カラ、普通官吏ト同ジヤウデア、依ッテ是ハ普通官吏ト同ジ
ヤウニ取扱ッデ、府縣ノ負擔ニハサセナイ、斯ウ云フコトデ
アリマス、ソレカニ二項ノ方ハ「國庫以外ノ經濟ヨリ恩給ヲ
給スルモノ俸給ヲ給セザル公務員ニ俸給ヲ給スル者ハ其ノ俸
給ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ其ノ經濟ニ納付スベシ」是
ハ例ヲ申シマス、府縣カラ恩給ハ給スル、俸給ハ町村カラ

貰フ、斯ウ云フ場合ガアル、サウ云フ場合ニハ俸給ヲ給スル
モノハ町村デ、其町村ハ其百分ノ一ニ相當スル金額ヲ其經
濟ト云フモノハ府縣ニ納メ、丁度國庫ト府縣トノ關係ト
同ジク、府縣ト町村トノ間ニ於テモ、尙ホ恩給ヲ給スル經濟
ニハ百分ノ一ノ納金ヲサセル、斯ウ云フコトデア、ソレカ
ラ末項ハ其府縣ナラ其府縣ノ經濟ガ恩給ヲ給シマスガ故
ニ、是ハ國庫デ幾分ノ補助ヲシテヤラウ、府縣ノ經濟ニ幾分
ノ恩給制度ヲ置クガ爲ニ補助ヲ與ヘル、斯ウ云フノデアリ
マス、府縣カラ國庫ニ納メマス、納金ノ半分……更ニ半分ニ
當ル額ヲ其府縣ニ補助シテマス、斯ウ云フコトデ、其府縣ノ
負擔スル恩給ヲ國庫ガ幾分擔ツヤ、斯ウ云フ關係デアリ
マス、現行法ノ儘ヲ茲ニ規定シタノデアリマス
○大島健一君 先程副島伯カラモ廢兵ノ事ニ付テ御質問ガ
ゴザイマシタ、ソレニ對シスル恩給局長ノ御答辯ヲ拜承致シ
マシテ、各項ニ應ズル増加恩給額ヲ決メ、付テノ標準ト
サレタ所ハ明瞭ニ分リマシタガ、三百圓ト云フノハ半半
人分ハ働カレ得ル者トシテ、其衣食住ニ要スル半分ハ自辨
ヲスル、依ッテ其半分ダケヲ増加恩給ニ依ッテ出ス、云フ立
前デ三百圓ニ決メタノデア、ソレデ其額カラ見マスト第
三項ハ丁度其倍額即チ一眼ヲ盲シ若クハ兩肢ノ用ヲ失ウ
者ト云フノデアリマスガ、是ハ項ヲ分ケルノニ鬼ニ角一人
デ動ケルト云フモノガ目途ニ取ツテアルヤウデアリマスガ
ラ、之ヲ其真中ト見マシテ、全ク自分デ自活スルコトハ出来
ナイ、即チ生活費ヲ得ル働キヲスルコトハ出来ナイト云フ
ノデア、其二倍ノ六百圓ト決メタ、斯ウ云フコトニ
ナツテ居ル、ソレカラ第一項ノ九百圓ハ其六百圓ノ、自分ガ生
活ノ資料ヲ得ルノ能力ヲ失フタノミナラズ、他ニ補助ヲ要ス
ル者ガアル、他ニ補助ヲ要スル者ヲ負ウテ三百圓ヲ加ヘタ、
是ハ過日來ノ御説ニ依ルトソレノ妻トカ子供トカ乃至ハ家
ニ偶然居ル所ノ兄弟ト云フヤウナモノガ、自分ガ働キナガ
ラ其傍此廢兵ヲ助ケテ行クノデア、ソレデ其助ケル人ノ
半分ヲ認メテ三百圓ヲ増シテ九百圓トシテ、斯ウ云フヤウ
ナ御説明ノヤウニ聽取ラレタノデアリマスガ、此廢兵ノ勤
功トカ名譽トカ乃至ハ之ニ與ヘル慰安ト云フコトハ毛頭考
ヘテナイ、斯ウ云フ御話デアリマスカラ、先ヅサウ云フ唯今
申述ベタヤウナ三樣ニナツテ居ラウト思ヒマス、是モ一應此
ノ等差ヲ付ケラレ、所ノ標準トシテハ御尤モニ考ヘルノデ
アリマス、尙ホ是等ノ等級ヲ付ケルニ付テノ御苦心モ恐察
スルノデアリマス、即チ一項症ト云フモノガ幸ニ妻ガアリ、
子ガアリ若クハ兄弟ノ如キモノガアリテ、是ハ世話ヲシテ
呉レルト云フ場合ハ或ハ唯今ノヤウニ半分其人ガ働イテ吳
レバ是等ノ補助デハ出来ルト云フ場合モアリマセウ、或
ハ多イカモ知レマセヌ、併ナガラ全ク人ノ手ニ依ラヌナラヌ

ト云フヤウナ悲惨ナ境遇ニアル者モアルカモ知レマセヌ、是デ見マスルト五十圓ト云フ額ヲ以テ一人ノ一箇月ノ生活ノ費用ニ充テレバ宜イト云フ御勘定ノヤウデアアル、私共モ全國ノ都鄙ヲ平均シテ勘定シタラバソノナモノデアラウト思フガ、此九百圓ト云フノガ唯今申スヤウニ全ク人ヲ雇ハネバナラヌト云フコトニナツテ來ルト、既ニ足リヌト云フコトデアアル、其點カラモ少シハ増シテモヤリタイ、少クモ一人五十圓位ニ上ゲテヤツタレバ宜カラウ、ソレモ已ムヲ得ヌケレバ普通ノ恩給ヲモ加ヘテ千二百圓位ニナル高ニシテヤレバ先ヅ平均五十圓デ二人ノ生活ガ出來ルヤウニナル、斯ウ考ヘルノデアアリマス、又一方一項二項ハ實ニ同情ニ堪ヘヌモノデ、二項ノ方ハ一項ヨリハ多少症狀ノ輕イト云フモノデアリマセウカ、兎ニ角兩眼ヲ盲シテシマツタカ、若クハ兩足若クハ、兩手ヲ失ツタト云フヤウナ人生最モ悲惨ノ極ニアル、而カモソレガ國難ニ殉ズル立派ナ精神ヲ以テ働イタモノデアアルカラ如何ニモ同情ニ堪ヘヌ、去リトテ局長ノ御話ノ如ク其立派ナ精神、其困難ヲ防グノ結果トシテ受ケタ所ノ負傷ニ形以下ノモノヲ以テ酬ヒヤウトシテハ、是ハ餘程餘計ナモノヲヤツデモ誰モ不當ト言ヘヌモノデアアル、ソレハドウモ國家ガ負擔ノ出來ヌモノデアアル、又負傷者自身モサウ云フコトヲ豫期シテ居ラス、立派ナ精神デ、此ニ獻身シテ國難防衛ニ當ツタノデアアル、我々ハ普通恩給ヲ多少減ラシテモ此方ヲ増額セヌケレバナラヌダラウト思フ、政府ニ於テハ多少一項二項ニ別ヲ付ケテ、ソレカラ今後ノ此症狀ノ査定ノ如キモノ一項一項ニハ最モ是ノ確ニ一人ノ補助ヲ要スルモノト云フコトニシテ、此ニツラ少シ良クシテヤルト云フコトハ私ハ切望ニ堪ヘヌノデアアリマス、ソレニ對シテ局長ハ將來國家ハ永久ニ續クモノデアアル、將來ノ戰爭ハ日露戰爭以上ノモノデアアル、隨ツテ斯カル症狀ノモノハ戰爭ヲシタ場合ニハ非常ニ多クナルカラ國家ガ堪ヘナイト云フ御考慮ガアルノデアアル、我々モ同様ニ思フ、併シ此一項二項ノ如キモノハ他ヲドンナ窮屈ナコトニシテモガ今少シクヤツテ置クト云フコトガ今後ノ國難防衛ノ爲ニハ又國家ノ我々ノ立派ナ同胞ニ對スル義務トシテモ必要ガアル、又戰爭ノ上カラ考ヘマシテモ現ニ今日數萬居ル中デ、此一項二項ニ掛カル人員ト云フモノハ極メテ少ナイモノ、實ハ可哀サウナ譯デ、斯カル重傷ニ罹カルモノハ多クハ戰死ヲスルノデアアリマス、ソレガ幸イ彈丸ノミ通過トカ切ラレタ場所トカ云フモノガ俗ニ謂フ灸所デモ外レテ居ルト云フカ、幸ニ餘命ヲ保ツト云フヤウナ狀況デアリマシテ、ソレハ極メテ少ナイモノデアアリマス、今一項二項ヲ人ヲ合セマシテモ六百八十人トハ居リマセヌ、一項症ノ如キハ二百八十人ト云フ、サウシテ又其ヤルノモドウ云フ人ガ多イト云フト、兵ガ多

イ、下士ニナルトウシテ減ツテ居ル、下士ト大尉以下ノ將校トガ同シ位ノモノデアリマス、佐官將官ナドト云フモノハ……大方今日將官ハ居リマセヌ、佐官ニ一人居ルト云フヤウナ譯デアアル、隨テコトニアル所ノ二千四百圓トカ、千八百圓トカ云フヤウナモノハ殆ド受ケルモノハ無イノデアアリマス、少ナイ額ノ者ガ多イノデアアル、多少種ヤシタ所ガ非常ニ増加ヲシテ、將來戰爭ヲシタ後ノ國家ガドウナルカト云フ程ナモノデアアルマイト思フ、又國家ノ防衛ト云フコトカラ必要ガアル場合ニハ是等ノ者ニハドウモ國家ガ考ヘヌト將來戰爭ト云フ場合ニ非常ニ惡イ影響ヲ是等ノ者ニスルカト思フノデアアル、何トカ政府ノ御考ハアリマスマイカ
○政府委員(入江貫一君) 御説至極御尤モナコトニ拜承イタシマスガ、尙ホ私ノ申シ足りナカッタコトヲ補ツテ置キタイト思ヒマス、凡ソ二十五圓ガ今日ノ雇員等ノ俸給ノ平均額デアルト云フコトニナツテ居ルカラ、二十五圓トシタト云フヤウナコトヲ申上ゲマシタガ、第一項症ノ所ニ妻ナリ子供ナリガ内職片手間ニナルト申シマシタノハ、是ガ必ズシモ二十五圓ガ其半額デアアルト云フ意味デハ申シマセヌ積リデアッタノデアアリマス、妻子ガ内職ノ片手間ニ看護シ得ル程度デアルト云フコトヲ申シタ積リデアッタノデアアリマス、必ズシモ半人分ト、斯ウ申シタ譯デハナイノデアアリマス、ソレカラ尙ホ御承知ノ増加恩給ニハ當然普通恩給ガ加ハツテ居ルカラ、從テ金高モ二十五圓ト確定シタ譯デハナイ、是ハ無論御承知ノコトトハ存ジマスガ、私ノ申シヤウガ足りナカッタカラ補ツテ置キマス、サテ其一項症、二項症ニアル通り、子ノアル者ハ宜イガ、看護スル者ガ無ケレバ人ヲ雇ハナケレバナラヌト云フ御話ハ御尤モデアアリマス、今日ハ如何ニシテモ看病ノ女ヲ雇フニハ二十五圓、三十圓バカリデハ雇ヘナイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、斯ウ云フコトデ看護者ガ無ケレバ癩兵院ト云フ制度ガ立テ居リマス、是ハ陸軍ノ方デ所管サレテ居ッタノデアアリマシテ、此癩兵院ニソレ等ヲ收容シテ十分餘生ヲ送ラセル設備ガ出來テ居リマス、今日此癩兵院ガ善イカ惡イカハ別問題デアリマシテ、惡カッタラ改良セラるルノデアアリマスガ、國家ノ制度トシテ若シ看護者モ無イ人モ雇ヘザル者ハ、ソレニ相當シタ制度ガ出來テ居リマス、從テサウ云フ場合ニハソレゾレソレ等ノ既存シテ居ル設備ノ外ニ之ヲ慰安スルヤウナ設備ヲ國家トシテ作ツタラ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ最後ニ此額ガ少イカラ總テ百二十圓ニシタラ宜カラウ、成ルホド私ハ此國ノ爲ニ奮闘シタ者ニ酬ユル金額トシテハ少イト感ジテ居リマス、御承知ノ通り昨年ノ春マデハ一項症ノ兵卒ノ額ガ百二十圓、海軍一等卒ニシテモ一番上級ガ百八十圓ニ止ツテ居タ、是ガ今日九百圓ニナルト云フコトハ、隨分高率ノ改正デアルト思ヒマス、

之ヲ九百圓ニシタガ爲ニ非常ニ國家ノ爲ニ奮闘スル精神ヲ奮起シ、百二十圓デアアルガ故ニ其精神ガ全ク消耗スルトモ考ヘラレナイノデ、國家ノ財政窮乏ノ際ニ都合ニ依テ昨年ノ春マデハ僅カ百二十圓デアッタ者ガ九百圓モ上ボルト云フコトハ、見方ニ依テハ精神ヲ奮起シナイト云フコトハ考ヘラレナイ、是ハ世上ニ多ク傳ヘル所ハ、比率ガ六項症ノ三倍デアレバ宜イト云フ、成ルホド外國ノ例ヲ見ルト、一項症ニ當ル者ハ六項症ニ當ル者ノ三倍ニ止ラヌ、五倍ニモ七倍ニモナツテ居リマス、併ナガラソレ等六項症ニ當ル額ガ少イノデアアル、今日衆議院ノ或ル部分ニ於キマシテハ五倍ニスルガ宜イ、比率ハ五倍ガ相當デアアル、金ガ無ケレバ、ソナラ六項症、三項症ヲ低メルト云フガ、是ハ不賛成デアアル、低メルト生計ガ保障サレナイ、六項症ヲ下ゲルノハ不賛成デアアル、單ニ比率ガ保タレヌカラト云フ議論ハ私ハ受取レヌコトト思ヒマス、是カ比率ヲ保ツナラバ、六項症ヲ二百五十圓ニシテモ宜イガ、ソレハ氣ノ毒デアアル、依テ生活ガ出來ル程度マデニ是非上ゲナケレバ氣ノ毒デアアル、ソレガ爲ニ比率ガ或ル者ハ思フヤウニ比率ヲ得ナイトシテモ、縱ンバ一眼ヲ盲シタ者ハ二眼ヲ盲シタ者ノ半額ニナツテ居ル、是等ノ不具癩疾者ヲ支ヘシムルコトガ出來ナイ、依テ比率ハ外國ノ例ハ高イケレドモ、併シ是ダケノ金ハ是非給シナケレバナラヌト考ヘテ此案ヲ出シタノデアアリマス、尙ホ特別法ヲ設ケマシテ、五割マデ増スコトニナツテ居リマス、外國ノ例ハ成ルホド一番最高限ト云フ者ト、最下限ノ者ト「パーセンテージ」ガ五分五分ニナツテ居リマスガ、併ナガラソレ等ハ特別法ニ當ルノデアリマス、特別法ニ入リマスレバ五倍バカリニナル譯デアリマス、依テ先程カラ申シマシタガ、比率ガ五倍ニナラヌケレバイカスト云フ標準ハ何モ立タヌコトト思ヒマス、ソレハ比率ヲ保タセル爲ニ下ヲ削ル譯ニイカスト思ヒマス、依テ比率ハソレ等ノ人ニハ不服デアアルカ知レマセヌガ、併ナガラ下ノ者ヲ飢エシメテハナラヌト云フ考デ、斯ウ云フ風ニ致シタノデアアリマスカラ、ドウカ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス
○男爵大島健一君 私ハ比率ト云フコトニ重キヲ置イデ考ヘテ居リマセヌ、如何ニモ御話ノヤウニ種々ナル人カラ比率ガ惡イト云フ話ヲ聞キマスガ、其ヤウニ是ハ考ヘマセヌデ、唯相當ニ生活ヲサセテヤラセタイト云フ考カラ出タノデアリマスガ、金ノ高ヲ生活ニ要スル高ニ見込ムト、多少ノ違ヒガアリマセウ、ソレカラ以上ノ金高ハ見込デアリマス、此方ハ是デ止メテ置キマス
○男爵坂本俊篤君 唯今不具癩疾ノ事ニ付テ御説明ガアリマシテ、御趣意アル所ハ諒承イタシマシタガ、此戰死者ノ遺

族ノ扶助料ハ、是ハ今回恩給ノ全額ヲ給スルコトニナッテ居
リマス、此不具廢疾者ガ大正九年以後ニ増額シテ割合ニ比
スレバ増額ガ聊カ不足デハナイカ知ラヌト考ヘマスガ、マ
ア其事ハ姑ク措キマシテ茲ニ或ル戰死者ノ受クベキ恩給ノ
高ニ付テ見マスレハ、先ツ第一號表ノ退職年數十一年ト云
フモノヲ見マシテモ、卒ニ致シマシテ百五十圓ト云フ額ニ
ナッテ居リマス、其百五十圓ト云フモノヲ月額ニ割マスト
一ト月十五圓ニ足リナイ額ニナリマスガ、此十五圓ニ足リ
ナイ額デ此戰死者ノ遺族ガ假令此恩給ノ全額ヲ貰ヒマシテ
モ、逆モ是ハ食ウテ行クコトガ出來ナイト考ヘマス、唯、恩給
ノ全額ヲ給スルコト云フコトヲ一言ニ申セバ、如何ニモ優遇
セラルルヤウニナリマスガ、實際此表ニ就テ考ヘマス、如
何ニモ少ナ過ギルヤウニ思ヒマスガ、是ハ此額デ一家ヲ支
ヘ又其孤兒ヲ養フテ行クコトハ困難デハナイカト思ヒマス、
是ハ私ノ計算ノ見方ガ違フノデアリマスカ

○政府委員(入江貫一君) 誠ニ御説ノ通り恩給額ガ是デ十
分トハ申シ兼ねルノデアリマス、先程申シマシタノハ恩給
ノ制度トシテ割合ノ點カラ申シマシタノデ、尙ホ其時ニ申
上ゲマシタ如ク恩給ノ額ソレ自身ニ付テハマダ足リナイ點
ガアル、今日ノ國家ノ財政ノ上カラ來ルト十分トハ認メ兼
ネマセウガ、先ツ今日ハ是デ適當ト考ヘタ次第デアリマス、
ソレカラハ是ハ細カイ點デアリマスガ、海軍ノ四等卒ト云フ
モノハ現在ハゴザイマセヌ、三等卒ガ最下限デアリマス、サ
ウシテ是ガ戰死ヲ致シマスレバ三等卒ノ儘デハ居ラスノデ
アリマスカラ、事實ハ百五十圓ヲ遺族扶助料トシテ受ケル
モノハナイ、併ナガラ縦ンベ是ガ百八十圓デアッテモ、二百
圓デアッテモ、ソレハ十分ナ生活ハ出來ナイト思ヒマスガ、併
ナガラ一方翻テ戰死者ニアラザル者ハドウカト申シマス
ト、更ニ此三分ノ一ヲ受ケルノデアリマス、是等ガ生活ニ困
ルコトハ戰死者ノ遺族以上ニ困ルノデ、ソレ等ヲ棄テ置イ
テ、戰死者ノ遺族ニミ厚クスルコト云フコトモ如何カト思
フノデアリマス、依テ今回ノ改正ハ全體ニ亘リマシテ、先ツ
第一ニ遺族扶助料ヲ財政ノ許ス限リニ於テ増加スル、尙ホ
其上ニ一定ノ程度マデ増加シ得タラバ更ニ恩給額ヲ増加
スル、從テ戰死者ノ遺族扶助料モ増加スル、斯ウ云フ態度ニ
出デタノデ、サテ其増加ノ結果ヲ申シマス、今日ノ受恩給
者ノ數ニシテ而カモ一億一千万圓ニ達スルノデゴザイマシ
テ、之ヲ生活ガ出來ル程度マデニ上ゲマスレバ恐ラク三億
ニ達スルコトト思ヒマス、成ルホド恩給者ノ側カラ云ヘバ
バ二億ニ致シテモ、三億ヲ致シテモ相當ニ生活シ得ル程度
ニ支給セラルベキモノト云フカ知レマセヌガ、是ハ國家財
政ノ上カラ増加サルベキモノデナイト思ヒマス、從テ今回
ハ先ツ今日ノ程度ニ於テ是ガ出來得ル限度デアルト云フ程

度ニ止メタ次第デアリマス、今度根本的ノ改正ヲ致シマス
ナラバ、今回ノ恩給制度ヲ根本カラ變ヘナケレバナラヌト
考ヘテ居リマス、御承知デモゴザイマセウガ、英國ニ於テハ
先般ノ戰ヒニ於テ百八十萬人ノ死傷ヲ出シマシタ、日本
デハ恩給ヲ受ケル者ノ恩給扶助料全部ヲ通ジマシテ三十万
ニ足リナイノデ、若シ日本デ此恩給法ニシテ英國ノ如ク百八
十萬ノ受恩給者ガアツタスレバ、日本ノ財政ノ半分ハソレ
ニ取ラレマス、俄ニ百八十萬ノ受恩給者ガ生ズルコトハア
リセヌガ、併ナガ其百八十萬ノ受恩給者ニ對シテ英國デス
ラ歲入ノ二割以上ヲ恩給ニ投ジタノデ、英國ノ亡國ノ議論
ガヤカマシイノデアリマス、日本ガ此程度ニ於キマシテ十
年ヲ經過イタシマスレバ優ニ歲計ノ二割五分グラキニ恩給
ガ増額スルデアアラウト思ヒマス、ソレ等ニ對シテモ將來ノ
事ヲ考ヘマスレバ、今日ノ制度ヲ此儘ニシテ更ニ増額スル
ト云フコトハ如何カト考ヘマス、或ハ三年五年ノ後ニハ私ハ
是ハ根本的ニ恩給ノ制度ヲ改正シナケレバナラヌト考ヘ
テ居ルノデアリマス、根本的ト申シマスノハ色々アリマセ
ウガ英國佛蘭西アタリノ範ヲ採リマシテ、或ハ恩給ノ年
限ヲ變ヘルカ或ハ業務ノ方デ其者ノ個々ニ付テ決定ス
ルトカ云フ風ニ致サナケレバナリマセヌ、若シ日本ガ今
日初メテ恩給制度ヲ施キマスレバ、ソレ等ノ點ヲ參酌シ
テ恩給法ヲ制定スルコトハ比較的ヤサシイノデアリマス
ガ、ソレモ今日マデ在來ノ恩給法規アルモノヲ俄ニサウ云
フ風ニ改正シテ直チニ之ヲ適用スルコト云フコトハ事實不可
能デアリマス、依テ今日マデノ恩給法ヲ根本カラ覆サズシ
テ而カモ増額セズヤラレタコトト考ヘマス、依テ恩給額ガ
少イト云フコトハ誠ニ御同感デアリマスガ、程度トシテ是
レ以上ハ遺族ナリ受恩給者ナリノ生活ガ十分出來ルヤウナ
コトハ、私ガ増加恩給ノ内部ニ付テ申シタ如キ程度ニ生活
ヲ保障スルコト云フコトハ到底此財政ガ許シ得ナイコトト考
ヘテ居リマス

○男爵坂本俊篤君 唯今ノ恩給法ト遺族扶助料之ニ關聯シ
テ御質問ヲ致シマス、増加恩給ノ程度ニ遺族扶助料ヲ増加
スルコト云フコトハ不可能デアルト云フ御答ヲ承タノデア
リマスガ、是ハ増加恩給ハ増サナケレバナラヌト云フ理由
ナラバ、是ハ矢張遺族ノ方ノ扶助料ニ當メナケレバナラ
ヌト思ヒマス、之ハ増加恩給ヲ受ケル者ヨリモ更ニ此遺族
扶助料ヲ受ケル者ノ方ノ生活ノ安定ヲ考ヘルコトガ必要デ
アラウト思ヒマス、ソレ故ニ増加恩給ヲ受ケル者ホドニ遺
族ノ方ヲ増ス譯ニイカスト云フコトハ、チヨット私ハ御論ニ
服スルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレハサテ措キマシ
テ恩給ト云フコトト今ノ扶助料ト云フコトトハ、之ハ全ク
別ニ切離シテ考ヘテ宜イデハナイカト思ヒマス、恩給ヲ受
ケル者ハ現ニソレヲ受ケル者ガ生活シテ初メテ恩給ヲ受ケ

ナガラ尙ホ一家ヲ支ヘルゲケノ生活ガ出來ルノデアリマス
カラ、其方ノ側ハ恩給ヲ受ケル者ノ方ガ餘程有利ナ位置
ニアルノデ、然ルニ此扶助料ヲ受ケル者ハ其家ニ扶養スル
者ガ無いノデアリマスカラ、殊ニ生活狀態ヨリモ恩給ヲ受
ケル者ノ資産ノ狀態ヲ想像シナケレバナラヌ、今回ノ改正
ハ恩給ノ金額ヲ給スルコト云フ意味ニ於キマシテ、此恩給ト
關係ヲ持ツノデアリマスカラ、此恩給ソレ自身ガ少ケレバ
矢張其扶助料モ少ナイ、斯ウ云フ關係ヲ生ズルコトハ餘儀
ナイノデアリマス、サウ云フ餘儀ナイ、關係ニナリマスカラ
此恩給ノ少ナイコトハ即チ扶助料ガ少ナイ、斯ウ云フコトガ
餘儀ナクサレノデアリマスカラ、之ハ以前ノヤウニ其遺
族ト云フ者ハドウシテ食ウテ行クノハドレダケノ給與ヲ
受ケレバ宜シイカ、ドレダケ得サセたら宜シイカト云フコ
トヲ恩給ト懸離レテ考ヘテ行ク方ガ寧ロ宜シイカナイカ知
ラヌト思フノデアリマス、デ從來ノハ矢張戰闘公務ニ依ル
遺族、ソレカラ一般ノ寡婦孤兒ノ扶助料、斯ウ云フコトデ恩
給ト別ノ關係ニ於テカラ給與ヲ受ケテ居ルノデアリマスカ
ラ、寧ロ是等ハ斯様ノ扶養ノナイ遺族ハ如何ニシテ遺族ガ
生活シ得ルカト云フ、恩給ヲ離レテ別ニ御考慮ニナル方ガ
相當デハナイカ知ラヌト思フ、ソレデ先ツ實際ノ問題トシ
テハ此遺族ガドウシテ食フテ行ケルカ、ソレニ適當ナ金ハド
レダケ與ヘルバ宜シイカト云フコトヲ事實問題トシテ考慮
スルコトガ是モ必要デハナイカ知ラヌト思フ、其意味カラ
言ヒマス、茲ニ掲ゲテアル所ノ即チ恩給ノ、例ヘバ陸軍ノ
二等卒ニシテ十一年ノ在職年數デ受ケルモノニ相當スル百
五十圓ト云フガ如キ、或ハソレヨリ一段ニ段上ニ上リマシ
テモ百八十圓、之ヲ以テシテハ何ト致シテモ此遺族ガ生活
スルコトガ出來ナイ、生活シ得ルヤ否ヤト云フソレ自身ヲ
御考ヘナリマシタナラバ、大イニ考慮ラシナケレバナラヌ
ト云フコトハ諒解セララルデアアラウト、私ハ斯ウ考ヘマス

○政府委員(入江貫一君) 私ガ制度トシテ考ヘマシタコト
ヲ申シ上ゲタコトガ、少シ御諒解ニナラナカッタ存ジマス
ガ、併シマア御議論ハ承リマシタ、唯、申添ヘテ置キタイコト
ハ、以前ハ戰闘ニ依ルモノハ云々、公務ニ依ルモノハ云々ト
アツタト云フ御話デアリマシタガ、新法ニ於テモ其通りニナ
テ居ルノデアリマス、戰闘ニ依ルモノハ恩給ノ金額、普通公務
ニ依ルモノハ以前ハ三分ノ二デアリマシタノヲ、十分ノ八
ニ引上ゲマシタノデアリマスカラ、其關係ハ現行法ト少シ
モ變テ居リマセヌ、寧ロ殖ヘテ居ルノデアリマス、サウシ
テ遺族ハ食ヘル程度マデアルガ宜シイト云フ御説ハ至極御
尤デアリマス、出來得バケンバ其程度マデ上ゲタイノデア
リマスガ、例ヘバ遺族ト申シマシテモ遺族ノ人數モ個々ニ
依テ違ヒマス、唯寡婦ノミ一人食ヘタダケデハ満足ハ出來

ナイデアリマセウ、セメテ寡婦一人ダケハ食ヘル程度ニ上
ガルト致シマシテモ……目ノ子勘定デゴザイマスガ二千万、
五千万ハ直キ要スルノデアリマス、ソレカラ私ガ先程申上
ゲタ如ク、今度ノ改正ニハ根本的改正ヲ致シマシテ遺族ノ
數、即チ遺兒ノ數ニ應ジテ相當ノ金額ヲ給スルヨリ外ニハ、
漠然ト此遺族扶助料ヲ増額シテセメテ食ヘル程度ニ……セ
メテ年額三百圓ヲ給スルガヨイト云フコトガ實際ノ上カラ
ハ不可能ノコトト信ズルノデアリマス、故ニ私ハ今後ノ改
正ニ於テハ根本的ニ改正スル必要ガアルト申上ゲタ所以デ
ゴザイマス

午後四時五分散會
出席者左ノ如シ

主査 公爵近衛 文麿君
副主査 大島 健一君

伯爵副島 道正君
男爵坂本 俊篤君
男爵郷 誠之助君
男爵 阪本 彰之助君
南 弘君
江木 翼君

國務大臣 大藏大臣 市來 乙彦君
政府委員 內閣恩給局長 入江 貫一君
法制局長官 馬場 鉄一君
法制局參事官 黑崎 定三君
大藏書記官 太田 嘉太郎君